

「四無量心」 しむりょうしん

仏教の行事

日本で馴染み深い仏教行事としては「お彼岸」「お盆」「除夜の鐘」があります。

まず、「お彼岸」は、春分と秋分の日にお墓参りする仏事です。じつはお彼岸も日本独自の行事なのですが、なぜこのような行事が生まれたのでしょうか。

「彼岸」とは「悟りの世界」です。「彼岸」の反対は、現実世界の「此岸」です。彼岸に至ることを願う日、これがお彼岸なのですが、そのとき、すでに仏になっている先祖の霊を訪れ、より彼岸に近づくことを願う意味が込められています。

もともと聖徳太子が、先祖神祭りと彼岸への願いを結合させたのが由来とされています。なぜ、春分と秋分の日におこなうのかというと、諸説ありますが、太陽が真西に沈むこの日、西の彼方にあるという極楽浄土が見えるからといわれています。

次に「お盆」ですが、これは先祖の霊を迎えて供養する日です。地方によって異なりますが、



7月15日、または8月15日に行われます。一般的な流れは、13日の朝に仏壇を閉め、その前に盆棚をつくります。棚の上に位牌、水鉢、花や果物を供えて、13日の夕方に提灯をつけて霊を迎え入れます。キュウリやナスを馬や牛の形にすることがありますが、これは霊があのに帰るための乗り物です。

14日か15日に僧侶を招いて、お経をあげてもらいます。新盆（初盆）の場合は、親せきや知人に参列してもらい、精進料理でもてな

します。16日に盆棚の供え物を川や海に流して霊を浄土に送ります。

「除夜の鐘」も仏教行事の1つです。「除夜」とは「旧年を除く」という意味で、1年最後の夜＝大晦日をあらわしています。除夜は、五穀の豊年を祈願する年神様を迎える神聖な夜とされ、そのため一晩中起きて神様を迎えるとされていました。この習わしと仏教があわさり、お寺では除夜の鐘をならし、また人々は神社やお寺に参拝する行事となったとされています。では、なぜ除夜の鐘は108回なのか。諸説ありますが、一説には、108は人間の欲や怒りなど煩惱の数を表していて、これを打ち消す意味があるといわれています。

仏教の一つ一つの行事の意味を知ることによりご先祖様への畏敬の念や、世の安寧への願いなど垣間見ることが出来ると思います。

永く続いたコロナ禍も次のステージに移ろうとしています。大変な想いをされた方もたくさんいたことと思います。コロナ禍以前のような生活に一日も早く戻ることを心から祈念いたします。

お知らせ

■ 営業日・時間

【3月～11月】

- 営業日：火曜日～日曜日（月曜日定休日）※月曜祝日の場合は火曜日定休日
- 営業時間：午前10時～午後4時

【12月～2月】

- 営業日：火曜日・木曜日・土曜日の週3日となります。
- 営業時間：午前10時～午後4時

■ お参り用の花販売について

- 春彼岸期間中
- お盆期間中
- 秋彼岸期間中

■ お願い

お参りの際には、お供え物はお持ち帰り頂くようお願いいたします。
ろうそくや線香の火は、火災の原因になる恐れがありますので消してからお帰りください。

■ 諸手続きについてのお願い

墓地使用者（契約者）や、連絡者の住所・電話番号などの記載事項に変更がありましたら、すみやかに霊園（023-625-2977）へご連絡をお願いいたします。

■ 墓地に埋葬する際の手続きについて

「埋葬許可証」を提出していただき、許可を得てから埋葬して頂くことになります。尚、前もって納骨予定日時が決定したら、事前に連絡をお願いいたします。

■ 骨箱、卒塔婆の処分について

- 骨箱のお焚き上げ料金は2千円をご負担願います。
- 卒塔婆のお焚き上げ料金は1千円をご負担願います。

■ 造花の散乱について

風害やカラスのいたずらにより散乱した造花は、当園にて回収させていただきます。

公益財団法人 山形霊園
〒990-2332 山形市飯田五丁目25番7号
電話番号 023-625-2977
<http://www.yamagatareien.or.jp>